保護者の皆様へ

裏面(2)の感染症について、医師の診断をもとに、登園届の記入をお願いします。

保育施設は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけ医の診断に従い、登園届の記入及び提出をお願いします。

登 園 届

保護者記入用

保育施設長 様

入所児童氏名

(病名) (該当疾患に☑をお願いします)

☐	溶連菌感染症
☐	マイコプラズマ肺炎
☐	手足口病
☐	伝染性紅斑 (りんご病)
☐	ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等)
☐	ヘルパンギーナ
☐	R S ウイルス感染症
☐	帯状疱疹
☐	突発性発疹

(医療機関名) _____ (_____ 年 _____ 月 _____ 日受診) において
病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので、 _____ 年 _____ 月 _____ 日
より登園いたします。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

保護者名

印 又はサイン

(2) 登園届（保護者記入）をお願いする感染症

	感染症名	感染しやすい時期	登園のめやす
第 3 種	溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間が経過していること
	マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
	手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍(かいよう)が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
	伝染性紅斑 (リンゴ病)	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
	ウイルス性胃腸炎 (ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
	ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
	RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し全身状態が良いこと
	帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮(かさぶた)化してから
	突発性発しん	—	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと

*伝染性濃痂疹(とびひ)・アタマジラミ・伝染性軟属腫(ミズイボ)は、意見書・登園届は必要ありませんが、必ず受診し、医師の判断で患部を被うなどの処置後登園をお願いします。